

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 長岡福祉協会 高齢者ケアセンター こぶし園	代表者	滝本一也	法人・ 事業所 の特徴	築き上げてきた暮らしを支える。ご利用者の生活・介護（くらし）を支えることを念頭に置き、日常生活の支援を行っています。中重度方でも安心してご自宅での生活が継続できるよう訪問を中心とし通い・宿泊の利用調整を行い援助しております。今まで暮らしてきた生活のスタイルを崩さず要介護状態となってもご自宅で暮らせるように、ご利用者一人一人に寄り添った柔軟な支援をしています。また複合型施設の特徴を生かし、他事業所とのご利用者の交流や地域の方の協力のもとさまざまなアクティビティを取り入れ活動を行っています。
事業所名	小規模多機能型居宅 介護千秋	管理者	阿部恵理子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	3人	1人	1人	1人	1人	0人	2人	0人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	介護職員の運営推進会議への出席は次年度以降も継続していく。	今年度は新型コロナウイルス感染防止の為運営推進会議がほとんど開催できなかったが、開催した回では管理者以外にもう1名の職員に出席してもらうことができた。運営推進会議の役割や地域との関わりを学ぶ良い機会となった。	・事業所自己評価の「前回の改善計画」「取組結果」「出来ている点」「出来ていない点」「次回までの具体的な改善計画」のつながりがないように思います。目標が抽象的で評価がしづらいのではないのでしょうか。「出来ていない点」が「なぜ出来ないのか」「どうしたらできるか」を考えて目標を立ててはどうでしょうか。項目によっては、前年度と比べて自己評価がかなり下がっています。原因を追究することも必要ではないのでしょうか。	・自己評価の『次回までの改善計画』を具体的に立て実現に向けた取り組みが行われているか毎月のミーティングや昼礼等で評価していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	隣のワークセンターとも相談し、看板が見えやすく通行が安全にできるよう対応を検討したい。	・千秋敷地内の邪魔になっている植栽を剪定した。今後も確認を継続し定期的に剪定を行うとともに、見えにくいようであれば街路樹の剪定についても行政に確認していく。	・事業所への出入りが制限されているがコロナ禍では仕方ないと思う。	・年中行事を中心に季節を感じていただけるような行事を計画実行する。しつらえについては月毎に担当を決め、事業所入り口に季節を感じられる飾り付けを行う。 ・感染防止の観点に立った食席やフロア内の清掃、環境整備を行う。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>地域医療機関において介護保険に関する学習会や患者に向けた教室などを活用し、包括とも協力しながら情報発信の機会とすることで、より正しい理解、迅速な対応に繋げていきたい。</p>	<p>地域医療機関での学習会を開催することは出来なかった。新しい生活様式の中でどのような方法であれば情報発信ができるか考えていく必要がある。</p>	<p>・昨年まで当たり前に出ると思っていたことが難しくなっている。</p>	<p>・満足度調査で“コロナ禍で中に入ったことがない。様子が分かるかと助かる。”との意見があったため、しつらえや創作活動の作品などを写真に撮り2か月に1回程度ご家族や地域（コミュニティーセンター、病院など）に配布する。 ・コロナ禍で限られた活動が予想されるが可能な範囲で地域の活動に参加していく。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>地域の心配な方への支援については次年度以降も運営推進会議の中で事例紹介や経過報告などをさせていただきながらアドバイスを受け、より望ましい対応を継続して行っていきたい。</p>	<p>ご利用者に関わる地域の方と連絡を取らせてもらい、情報共有や緊急時の対応を検討することができた。</p>	<p>・町内の行事も中止となっているため、事業所内で行っている季節の行事に利用者も楽しまれていると思う。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染予防を第一に考え、地域行事は車内から見学する方法で参加していく。 ・訪問先で地域の人に会った際は挨拶などの関わりを継続し相談しやすい関係を構築する。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>この運営推進会議が単に事業所からの報告で終わることなく、各方面からの課題に対し活発に意見交換が行われ、地域力の向上に繋がるような機会としていくためにも、包括や民生委員からも協力（心配な方などの情報提供など）いただき、委員全員が活用できる会議にしていく。</p>	<p>・運営推進会議がほとんど照会になってしまったこともあり、報告と質問や意見に対する返答のみになってしまった。感染予防対策を万全にした上で千秋以外の場所（公民館など）で開催することも考えていく。</p>	<p>・実際に開催された回数は少なかったが議事録で確認することができた。 ・議事録で必要なことを報告してもらった。</p>	<p>・運営推進会議に参加することで地域との関わりや運営推進会議の意義など多くのことを学ぶため次年度も介護職員の出席を継続していく。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>事業所種別や法人で区別することなく、非常災害時にはサービス事業所同士が協力して要支援・要介護状態にある地域住民を支援できるよう平時からの連携の中で関係性を強化していく。いざという時に困っていることが相談できるように顔を合わせられるような研修などの機会があれば参加しコミュニケーションをとる。</p>	<p>・研修などの機会は設定できなかった。防災訓練には異動してきた職員など千秋の防災訓練に参加したことがない職員を優先して参加してもらった。</p>	<p>・防災計画は年度初めに提示してもらった。 ・昨年度は防災訓練に参加したが、今年度はコロナウイルスの感染防止のため仕方ないと思う。</p>	<p>・地域で防災訓練が行われる場合は小規模職員も参加させてもらえるよう民生委員や町内会長に依頼していく。</p>